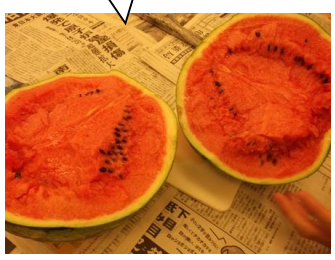

じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第18号
平成24年
9月1日発行

発行元
（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成20年6月1日創刊

春風駘蕩～風の便り～

今年の夏は、例年の暑さゆえの汗のみならず、「計画停電」の噂に冷や汗もかきながら、また殊のほかであったように感じております。皆様におかれましては、熱中症などに罹られず、お元気にお過ごしいただけましたでしょうか。私事で恐縮ですが、今夏は梅雨明け直前の7月中旬に休暇をいただき、鳥羽の海を堪能してまいりました。何をするでもなく、ただ仰向けになって、子どもたちと海上にプカプカと浮かんでいるのが心地良く、3日間にわたり愉しませていただきました。ところが折からの曇天に騙されて陽ざしに対する備えを“怠り、京都へ帰ってきてから日焼けに悩まされ、“黒焦げのたこ焼き”みたいな容貌・・・そしてお恥ずかしいことに、数日間で、「ひと皮剝けた、タコ男」が完成したという、間抜けな顛末と相成りました。

さて、9月の秋空は爽やかで、風を感じて戸外でお過ごしになるのをお奨めしたいところではありますが、ご存知のように紫外線の強さは真夏には劣らず、むしろ厳しい日々が続きます。皆様、ゆめゆめ油断なさらず、涼風をご満喫ください。

〈施設長　吉田　厳〉

職員紹介

通所リハビリテーション

自己紹介：
右・・・大入千明
色々な場所へ旅をし、自分探しをすることが趣味です。よろしくお願いいたします。

中・・・清水理恵
うさぎとインコと福山雅治を愛する清水です。よろしくお願いいたします。

左・・・本城和季
最近、子猫を飼い始めた本城です。これからも皆様と一緒に笑顔のたえない楽しいデイケアにしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

管理栄養士よりお知らせ

『家庭でできる食中毒予防』

細菌が発育しやすい温度は20～50度。夏に細菌性の食中毒が増えるのは、気温の上昇とともに、細菌が増殖しやすい環境になるからです。9月に入ってもまだまだ気温の高い状態が続きそうですので、引き続き夏場同様の予防対策が必要です。

細菌性食中毒を予防するには「細菌をつけない、増やさない、やっつける」の3原則が重要です。

①つけない　↓　食品、手、調理器具はしっかり洗いましょう。

②増やさない　↓　食品を長時間室温で放置せず、冷蔵庫や冷凍庫で保管し、調理した料理は時間を置かず、すぐ食べましょう。

③やっつける　↓　食品は内部まで十分加熱しましょう。調理器具はこまめに洗い、定期的に消毒を心がけましょう。

また買い物をするときも、なるべく新鮮なものを、食べきれる量だけ買うように。安全でおいしい食生活のために、日々注意して下さい。

外出後や、調理・食事の前は石鹸を使ってしっかりと手を洗いましょう。

まな板や包丁は清潔なものを使用し、すぐに食べないものは必ず冷蔵庫で保管しましょう。

行事委員会より

今年の夏も猛暑日が多くきびしい夏でした。皆様お変わりありませんでしょうか。

私たち行事委員会は、施設をあげてのお祭りや季節ごとの催しなどを企画・立案し、他職員との連携のもと、御利用者の皆様にもご協力頂きながら力を合わせて行事をつくりあげていく委員会です。

来る9月30日に、毎年恒例となりました「じゅんぷう敬老祭」を行う運びとなりました。当施設最大の行事で毎年秋に開催され、好評を頂いております。敬老の日に近いことから祭りの名に敬老の語を冠し、祭りのテーマを「御利用者様・御家族様・職員が共に感謝し共にお祝いするお祭りに」と致しました。当日まで一ケ月と迫り、祭りへの意気もいよいよ熱を帯びてきています。御利用者様の楽しい時間は御家族様とお過ごしのひと時より勝るものはないと私たちは考えています。当日はさまざまなイベントや露店を準備し、祭りの雰囲気を盛り上げてまいります。また、食事を共に召し上がって頂く事も出来ます。詳しくはフロア職員まで、気軽にお声かけ下さい。是非、御利用者様と職員がともにつくりあげた年に一度のお祭りの空間にて、御利用者様との楽しいひとときをお過ごしくださいませ。心よりお待ちしております。（写真は昨年度の秋祭りのものです）

ご利用者様俳句・川柳

キャンバスに
絵の具ぎらつく
残暑かな
2階ご利用者様

夏帽子
似合ふ似合はぬ
二の次に
4階ご利用者様

職員サークル活動

広報委員会が中心となり職員交流を目的に各種サークル活動を行っております。

今回は桂川にてバーベキューを行いましたので、その活動をご紹介させて頂きます。当日はかなり日差しが強く、暑さ対策が大変でしたが、楽しく終えることができました。

今後も皆様により良いサービスが提供できるようチームワーク向上に努めてまいりたいと考えております。

じゅんぷうHP　http://www.junepooh.com/